

September 8, 2020

【前日の為替概況】ポンド、通商合意なき離脱懸念で全面安、対ドル 1.3141ドル、対円 139.60円

7日のニューヨーク外国為替市場でドル円は小幅ながら続伸。終値は106.27円と前営業日NY終値(106.24円)と比べて3銭程度のドル高水準だった。レーバーデーで米金融市場は外為を除き休場。新規の手掛かり材料に乏しく、動意に薄い展開となった。欧州株相場は大幅反発し、時間外のダウ先物は一時265ドル上げる場面もあったが、目立った反応は見られなかった。今日の安値は欧州時間に付けた106.13円、高値はアジア時間に付けた106.38円で1日の値幅は25銭程度と小さかった。

ユーロドルは5日続落。終値は1.1817ドルと前営業日NY終値(1.1838ドル)と比べて0.0021ドル程度のユーロ安水準だった。ユーロポンドの上昇につれた買いが入り一時1.1832ドル付近まで持ち直す場面もあったが、ポンドを中心に欧州通貨全般が対ドルで軟調に推移すると1.1812ドルと日通し安値を更新した。10日の欧州中央銀行(ECB)定例理事会を前に、ポジション調整目的の売りも出たようだ。ただ、米国市場が休場だったことから、NY時間の値幅は0.0020ドル程度と小さかった。

ユーロ円は4日続落。終値は125.58円と前営業日NY終値(125.77円)と比べて19銭程度のユーロ安水準。ユーロドルの下落につれた売りが相場の重しとなったものの、NY市場に限れば125円台半ばでの狭いレンジ取引に終始した。

ポンドは全面安。ジョンソン英首相は7日付の声明で「欧州連合(EU)との自由貿易協定(FTA)交渉は10月15日までに結論を出す必要がある」「合意できなければ、決裂を判断する」と明言した一方、EUは「英国が離脱合意の修正を試みれば通商協定はそもそも実現しない」と警告。英国がEUとFTAを締結できないまま移行期間が終了し、無秩序な離脱に陥る可能性が意識されてポンド売りが広がった。ポンドドルは一時1.3141ドル、ユーロポンドは0.8994ポンド、ポンド円は139.60円までポンド安に振れた。

なお、英国とEUは8-10日に首席交渉官級による第8回協議をロンドンで開く。

【本日の東京為替見通し】日本の4-6月期GDP改定値を見極め、ポンドの動向に要警戒か

本日の東京外国為替市場のドル円は、日本の4-6月期実質国内総生産(GDP)改定値を見極めた後、ポンド円の動向を注視する展開が予想される。

本日発表される日本の4-6月期実質GDP改定値は、前期比年率-28.6%と予想されており、速報値の前期比年率-27.8%からの下方修正が見込まれている。しかしながら、安倍首相辞任によるアベグジット(ABEXIT)懸念は、菅官房長官の総裁選出馬により、払拭されている。すなわち、菅官房長官が次期総裁となる可能性が高いことで、アベノミクスの継承が見込まれるため、2013年1月の「政府・日銀の政策連携に関する共同文書(アコード)」により、日銀の金融緩和路線が継続し、3四半期連続のマイナス成長でも、「アベノミクス」に続く「スガノミクス」により、日本株買い・円売りの流れはメインシナリオであり続けると思われる。

しかしながら、来週15-16日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で、フォワードガイダンスの強化や資産購入額の拡大観測が高まっていることで、ドル円の上値は限定的だと思われる。

ポンドドルとポンド円は、本日8日から10日まで開催される英国・欧州連合(EU)の第8回通商交渉ラウンドが、ジョンソン英首相による最後通牒や明日発表予定の英国政府のEU離脱協定の一部を無効にする法案により、難航する可能性が高まっていることで続落が予想される。ポンド円は1日には142.72円まで上昇していたが、現在は139円台まで下落しており、本邦機関投資家・個人投資家が売り出した場合、ドル円も連れ安に推移する可能性が高まることになる。

ジョンソン英首相は「欧州連合(EU)との自由貿易協定(FTA)交渉は10月15日までに結論を出す必要がある。合意できなければ、決裂を判断する」と表明し、EUは「英国が離脱合意の修正を試みれば通商協定はそもそも実現しない」と警告したことで、英国がEUと貿易協定を締結できないまま移行期間が終了し、無秩序な離脱に陥る可能性が高まりつつある。

ユーロドルは、レーンECB専務理事やECB政策担当者が、ユーロ高による物価押し下げに懸念を表明したことで、10日の欧州中央銀行(ECB)理事会に向けて、資産購入額の拡大などへの警戒感が高まっており、上値が重い展開が予想される。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:30 ◇ 7月家計調査（消費支出、予想：前年比▲3.7%）
- 08:30 ◇ 7月毎月勤労統計（現金給与総額、予想：前年比▲1.5%）
- 08:50 ◎ 7月国際収支速報
 - ◇ 経常収支（予想：季節調整前 1 兆 8680 億円の黒字／季節調整済 1 兆 4401 億円の黒字）
 - ◎ 貿易収支（予想：1821 億円の赤字）
- 08:50 ☆ 4-6 月期実質国内総生産（GDP）改定値（予想：前期比▲8.1%／前期比年率▲28.6%）
- 14:00 ◇ 8 月景気ウォッチャー調査（予想：現状判断指数 41.3／先行き判断指数 39.1）

<海外>

- 08:01 ◇ 8 月英小売連合（BRC）小売売上高調査（予想：前年同月比 3.5%）
- 10:30 ◇ 8 月豪 NAB 企業景況感指数
- 15:00 ◇ 7 月独貿易収支（予想：160 億ユーロの黒字）
- 15:00 ◇ 7 月独経常収支（予想：173 億ユーロの黒字）
- 15:45 ◇ 7 月仏貿易収支（予想：62.11 億ユーロの赤字）
- 15:45 ◇ 7 月仏経常収支
- 18:00 ☆ 4-6 月期ユーロ圏 GDP 確定値（予想：前期比▲12.1%／前年比▲15.0%）
- 18:30 ◎ 4-6 月期南アフリカ GDP（予想：前期比年率▲47.2%／前年同期比▲16.5%）
- 9 日 02:00 ◎ 米財務省、3 年債入札
- 9 日 04:00 ◇ 7 月米消費者信用残高（予想：130.0 億ドル）
- 英国と欧州連合（EU）の首席交渉官級による第 8 回協議（ロンドン、10 日まで）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

7日 06:47 ジョンソン英首相

「欧州連合(EU)との自由貿易交渉は10月15日までに結論を出す必要がある」

「10月15日まで合意に至らない場合、英とEUはそれを受け入れ、前進する必要」

7日 21:12

「EUとは10月15日までの合意が必要」

「EUとの協議では依然として合意が必要な事項がある」

7日 15:16 ユースティス英環境相

「我々はゴールポスト(交渉期限)の位置を動かさない」

7日 17:20 ハンコック英保健相

(5月以来の感染者数が最大になったことについて)

「政府が新型コロナウイルス危機を制御不能になったわけではない」

「(感染者が)上昇しているのは多くは若者」

「欧州連合(EU)とはカナダ方式で合意するのが好ましい」

7日 18:01 英政府報道官

「我々は常に北アイルランドと英国内で最良な行動をする権利を保持する」

「我々は退却する選択を考察している」

7日 19:24 フォンデアライエン欧州委員長

「英政府が国際法の義務と前もって必要な将来の協力の下で、離脱協定を履行することを信じている」

8日 00:26 ショルトツ独財務相

「経済の回復に一段の借り入れ増が必要」

「来年は追加的な大規模な借り入れが必要」

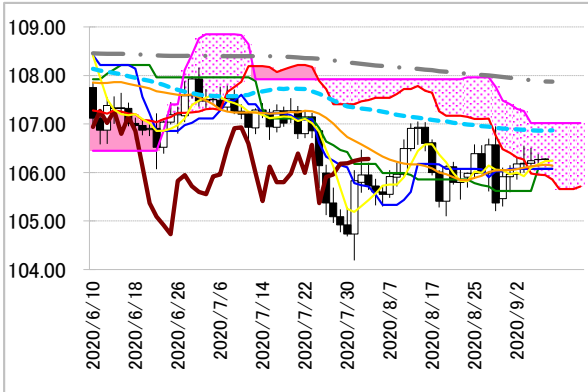
「コロナ禍前の経済状態に戻るのは遅くとも2022年初旬と予想」

8日 02:38 トランプ米大統領

「新型コロナウイルスのワクチンが10月に準備整う可能性」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

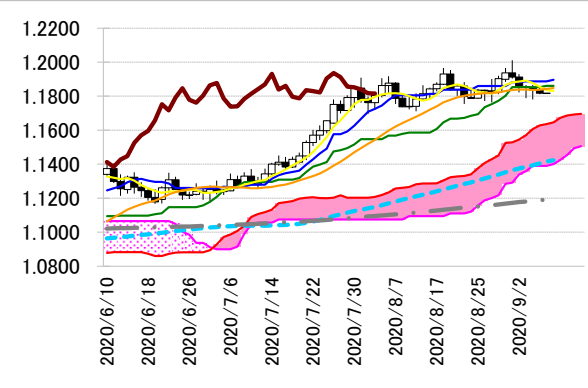


<ドル円=雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

寄引同事線引け。一目・転換線は基準線と同値、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を上回って引けていることで買いシグナルが優勢な展開。しかし、5手連続陽線で反発したものの、28日の大陰線を上回ることが出来なかったこと、寄引同事線により、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	107.02(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	106.27
サポート1	105.94(日足一目均衡表・雲の下限)
サポート2	105.20(8/28 安値)

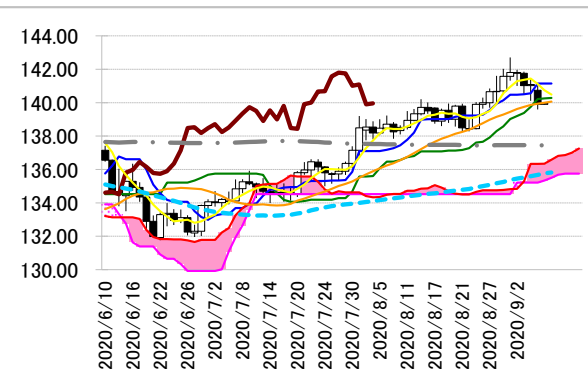


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。高値圏での孕み線、5手連続陰線で転換線を下回って引けていること、逆行現象（ダイバージェンス）などで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1887(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1817
サポート1	1.1763(8/27 安値)

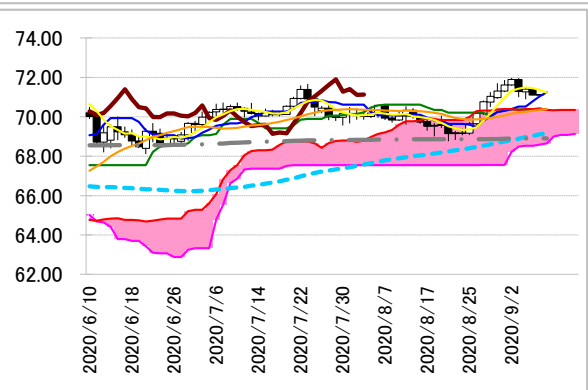


<ポンド円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、均衡表は好転したままだが、転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	141.16(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	139.97
サポート1	138.26(8/21 安値)



<NZドル円=9/2 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、高値圏での抱き線で反落基調にあり、続落の可能性が示唆されている。

本日は、9月2日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上げた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	71.98(9/2 高値)
前日終値	71.11
サポート1	70.37(日足一目均衡表・基準線)

